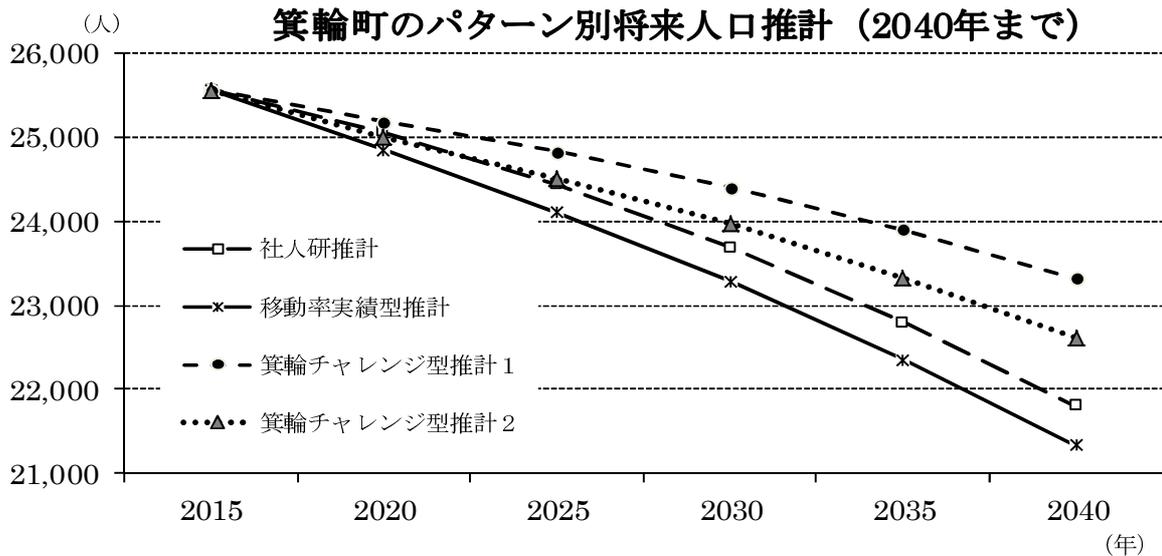


第 5 次振興計画 人口の目標設定について

これまでの傾向が続けば、2025 年に 24,102 人まで減少するが、
少子化対策や移住定住施策等により、24,800 人の達成を目指す。

1 2025 年の人口予測



パターン別将来人口推計の年齢別人口と割合

	2015年		2025年		2040年	
	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)	人口(人)	割合(%)
実績人口	25,560	100.0				
0～14歳人口	3,608	14.1				
15～64歳人口	15,022	58.8				
65歳以上人口	6,930	27.1				
社人研推計			24,438	100.0	21,806	100.0
0～14歳人口			2,923	12.0	2,432	11.2
15～64歳人口			14,040	57.5	11,583	53.1
65歳以上人口			7,476	30.6	7,791	35.7
移動率実績型推計			24,102	100.0	21,340	100.0
0～14歳人口			2,960	12.3	2,530	11.9
15～64歳人口			13,983	58.0	11,470	53.7
65歳以上人口			7,158	29.7	7,340	34.4
箕輪チャレンジ型推計1			24,827	100.0	23,316	100.0
0～14歳人口			3,161	12.7	3,114	13.4
15～64歳人口			14,356	57.8	12,543	53.8
65歳以上人口			7,311	29.4	7,659	32.8
箕輪チャレンジ型推計2			24,502	100.0	22,612	100.0
0～14歳人口			3,110	12.7	3,019	13.4
15～64歳人口			14,234	58.1	12,253	54.2
65歳以上人口			7,158	29.2	7,340	32.5

2 最近の人口動向

死亡数の増加が見込まれるため、総人口の減少は避けられない。

(1) 自然増減

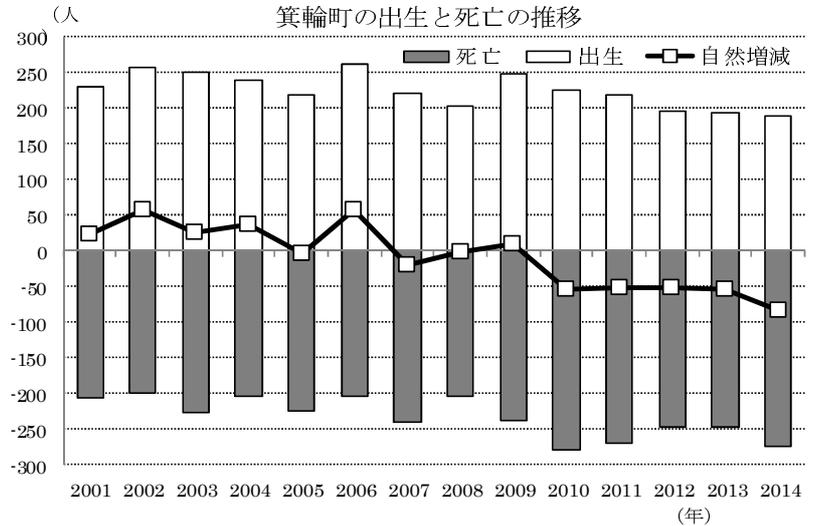
- 死亡数が出生数を上回る自然減の状況。
- 合計特殊出生率の低迷や高齢化率の上昇から今後も自然減が継続。

<2014年>

年間の出生者:190人

年間の死亡者:274人

※△84人の自然減



(2) 社会増減

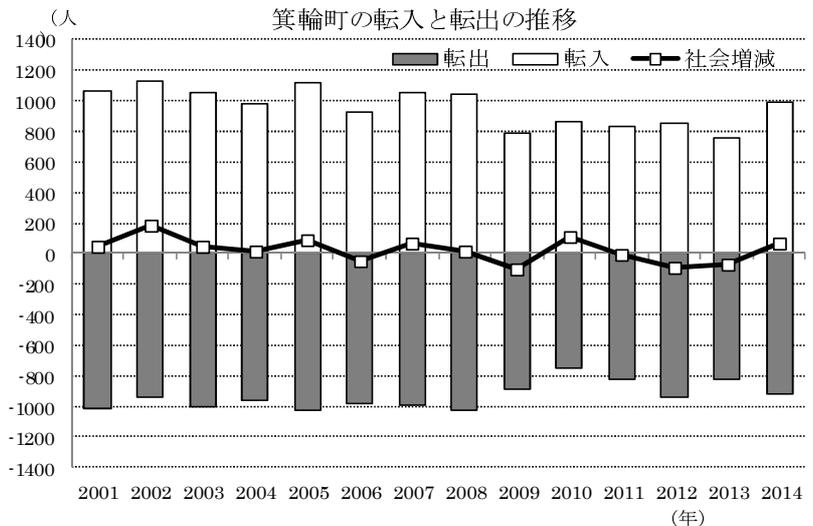
- 箕輪町では、2009年のリーマンショック等の影響を受け、転出超過となる年が増加。
- 転出入は景気の影響を受けやすい。

<2014年>

年間の転入者:986人

年間の転出者:918人

※68人の社会増



(3) 課題

- 寿命の延長には限界があるため死亡数の増加は不可避。
- 町の合計特殊出生率は1.48で、郡平均1.63を下回っているため子育て支援対策等の検討が必要。(数値は2008～2012年の厚労省統計)
- 町の暮らしやすさを振り返り町の魅力を高め、「選ばれる町」を継続。その結果、Uターン・Iターン者等の増加を期待。

3 出生数・転入者の増加

(1) 出生数の見込み

女性人口が減少するなか、出生数を増加させる必要がある。

		2015年	2020年	2025年
合計特殊出生率		1.48 未満	1.65	1.80
年間出生数	箕輪チャレンジ推計1	190人	208人	218人
	箕輪チャレンジ推計2		207人	216人
15～49歳 女性人口	箕輪チャレンジ推計1	4,902人	4,757人	4,501人
	箕輪チャレンジ推計2		4,738人	4,461人

○ 2025年の合計特殊出生率1.80は国・総合戦略の期待値

(2) 転入者数の見込み

日本の総人口が減少し、景気動向も見通しが立たないなか、転入者を10年間で、480人増加させる必要がある。

	箕輪チャレンジ推計1	箕輪チャレンジ推計2
現状 (a)	5～14歳転入者数：39人 20～34歳転入者数：327人 35～54歳転入者数：240人 55～64歳転入者数：46人 (出典：箕輪町「2014年住民基本台帳」)	
Uターン 対策 (b)	若年者：30人 子育て世帯：2世帯 8人 退職後夫婦：1夫婦 2人	若年者：30人
Iターン 対策 (c)	若年者の配偶者：2人 子育て世帯：1世帯 4人 退職後夫婦：1夫婦 2人	—
U+Iター ン計 (b+c)	48人	30人
年間希望 転入者数 (a+b+c)	5～14歳転入者数：45人 20～34歳転入者数：359人 35～54歳転入者数：246人 55～64歳転入者数：50人	20～34歳転入者数：357人

※ 現状の数値に対する年間増加数をUターン・Iターン対策別、推計別に上表のとおり設定。「若年者は20～34歳」、「子育て世帯は親を35～54歳、

子を5～14歳」、「退職後夫婦は55～64歳」。

4 目標実現に向けた施策

【第5次振興計画の目指す姿】

**みんなで創る、未来につなぐ、暮らしやすい箕輪町
～ 新たな時代への挑戦・箕輪チャレンジ ～**

項目	対象者	施策
町の暮らしやすさを確保	全町民	<ul style="list-style-type: none"> ■美しい自然環境の継承 ■集落等のコミュニティの確保 ■徹底した安全・安心の確保 ■地域に愛着を持つ人材の育成 ■いつまでも健康に暮らせるまち ■安全で利便性の高い社会基盤
出生数の増加	子育て世帯	<ul style="list-style-type: none"> ■結婚対策 ■子育てに適したまちづくり
転入者の増加	転入者	<ul style="list-style-type: none"> ■移住定住施策の推進 ■町のブランド戦略
	若年者	<ul style="list-style-type: none"> ■働く場所の確保 ■若者に魅力のあるまちづくり ■交流の場の創出から結婚へ誘導
		子育て世帯
	退職者世帯	
転出者の抑制	転出者	<ul style="list-style-type: none"> ■箕輪町で住み続ける魅力の構築 ■居住地選択機会の提供 (その他、転入者対策と重複)